

3区インタビュー(2023年1月)

志津南地区社会福祉協議会

会長 吉森 文男

【質問 1】福祉に関係する団体はいくつもありますが、以下の点について教えてください

(1) 社協・赤十字・包括支援センターのちがい

「社会福祉協議会」は、全国・都道府県・市区町村ごとに第三セクターにより独立した社会福祉法人として組織されています。地域福祉の推進と民間福祉事業やボランティア活動の推進・支援活動を行っています。

「赤十字」は、世界192か国の国ごとに独立した「赤十字社」として組織されています。紛争や災害時における、傷病者への救護活動や医療保健、青少年の育成等の事業、献血事業を行っています。日本国内では91の病院を運営しています。

「地域包括支援センター」は、高齢者に関連する相談の窓口として業務を行っている公的な機関です。佐倉市では市内に5つの事業所が設置されており、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員が配置され、佐倉市（高齢者福祉課）から委託を受けた指定管理業者が業務を行っています。

(2) 社協と民生委員との関り

民生委員は、佐倉市社会福祉協議会から福祉委員の委嘱を受けて、各地区社協の活動に参加しています。志津南地区社協が一人暮らし高齢者を対象に行っている、「ふれあい訪問」「ひなまつり昼食会」「小学校の給食会」などで、対象高齢者とのパイプ役をお願いしています。

また、志津南地区社協には7つの事業部会（以下）がありますが、民生委員それぞれが希望する部会に所属して地区社協の活動を行っています。

- ・地域福祉部会
- ・高齢者福祉部会
- ・児童福祉部会
- ・研修部会
- ・広報部会
- ・上志津原ブロック
- ・愛あいサービスセンター

(3) 社協と自治会との関り

地区社協の福祉委員は、自治会代表（自治会長、役員など）、民生委員、青少年相談員、保護司、各種ボランティア団体、高齢者クラブ、学校、福祉施設、個人ボランティアなどで構成されています。地区社協は各出身母体の団体とも連携して、地域の課題の解決や地域福祉に関わる事業や活動を展開していきたいと考えています。

自治会には、社協の会費について、地域の住民の皆さんから納金を各自治会をお願いしているほか、地区社協の行事の地域への周知を図るためのポスターの掲示や回覧もお願いしています。また、自治会役員の参加・協力を得て事業を実施したり、秋の地区社協・福祉まつりと自治会・秋まつりや防災講座のように自治会と共催による行事もあります。

【質問 2】 社協は全国的な組織と認識していますが、各都道府県の社協と佐倉市の社協との関係を教えてください

社協の組織については、以下のようになっています。

全国社会福祉協議会（全社協）

地方組織の活動支援、国への提言など

都道府県社会福祉協議会（都道府県社協）

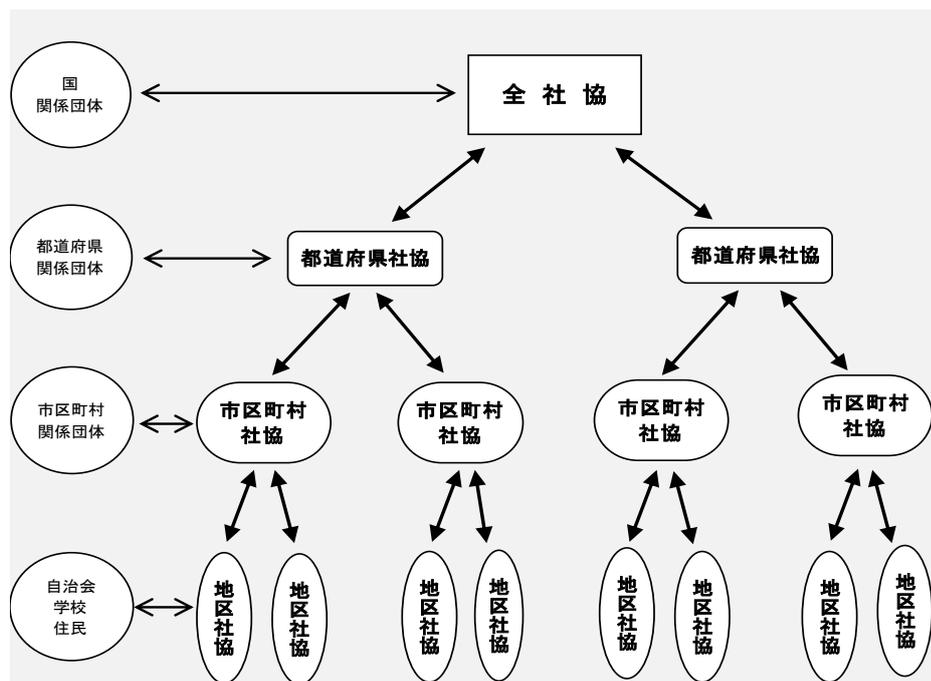
市町村社協の指導・支援・監督、都道府県行政への提言など

市区町村社会福祉協議会（市区町村社協）

地区社協の指導・支援・監督、市区町村行政・地域福祉関係機関との連携など

地区社会福祉協議会（佐倉市は 14 地区社協）

担当地区における福祉事業・活動、地域の各種機関との連携



【質問 3】 佐倉市には市社協と地区社協があると聞いていますが、その関係を教えてください

地区社協は佐倉市社協の下部団体として組織されており、市内に 14 の地区社協があります。各地区ごとに地区内の福祉課題やニーズに対して、住民ボランティアが福祉委員として主体的・自発的に取り組んでいます。

市社協は地区社協のそうした活動に必要な財政支援（会費の還元）をはじめ、地区社協の活動の支援、情報提供、地区社協相互間および市社協との連絡調整などを行っています。

【質問 4】 地区社協の主な活動内容を教えてください

主に以下のような活動を実施しています。

<高齢者福祉活動>

- ・森の茶屋（100 円喫茶）
- ・ふれあい訪問（地域の高齢者を訪問）
- ・ひなまつり昼食会
- ・愛あいサービス（高齢者日常生活支援事業） など

<地域福祉活動>

- ・愛の箱募金（地域内のお店などに置かせていただいています）
- ・福祉まつり（バザーと模擬店の出店、車椅子体験ほか）
- ・アルミ缶回収事業（志津荘に空き缶置場を設置）
- ・福祉映画会（毎月 1 回、名作映画を上映）
- ・愛あいカフェ・志津荘（無料休憩所）

<子どもたちの育成の行事・お手伝い>

- ・茶道体験学習
- ・ミニ門松作り
- ・昔の遊び体験
- ・保育園児のおいも掘り
- ・竹林清掃&竹の子掘り など

<世代間交流活動>

- ・書を楽しむ会
- ・ウォークラリー
- ・味噌づくり など

<研修・広報活動>

- ・福祉委員研修
- ・講演会開催
- ・広報紙の発行
- ・劇団活動 など

<指定管理事業>

- ・佐倉市老人憩の家志津荘の運営

【質問 5】 志津南社協の活動拠点について教えてください

事務所： 西部地域福祉センター

活動機材保管： 志津荘

【質問 6】 志津南社協の福祉委員の人数と年齢について教えてください

男性 40名 女性 43名
最高齢者 推定 85歳
最若年者 推定 38歳
平均年齢 推定 66歳

【質問 7】 吉森様が社協の活動に加わることになったきっかけを教えてください

1993年に発足した地域清掃ボランティア団体「中志津クリーンクラブ」に参加し、その後、1999年に中志津クリーンクラブを代表して福祉委員として社協活動に参加。

【質問 8】 吉森様は志津荘でギター演奏をしていますが、ギターを習い始めたきっかけを教えてください

1960年代前半に、ベンチャーズとビートルズ旋風でエレキブームが起こり、1964年 中学3年生のときに金持ちの友だちが買ったエレキギターに触らせてもらいました。以後、親にアコースティックギターを買ってもらい、独学でレコードから音をとりながら毎日のように練習してきました。

【質問 9】 吉森様が現在、最もやりがいを感じていることは何でしょうか

- ・地域活動を通じて知り合った人々の喜びの声、笑顔を見たとき
- ・企画した事業がスムーズに滞りなく実施できたとき

【質問 10】 志津南社協の福祉委員の方々が無報酬で地域のために活動している姿をみると本当に頭が下がる思いです。皆さん、どのような思いで活動に参加しているのでしょうか

- ・社会貢献をして社会とつながっている。(福祉委員アンケートから)
- ・支え合い活動に参加して相手に感謝されてうれしい。(")
- ・人の役に立っていると感じる。
- ・社協活動を通じて、友だち・仲間ができること。

【質問 11】 社協の運営に関して行政からの補助（資金面、人的補助）はあるのでしょうか

- ・資金面の補助はすべて申請により受けています。
愛あいサービス： 補助金
敬老事業： 交付金
- ・人的補助はありません。

【質問 12】 三区では 2019 年度より一口 500 円の一般会費の集金方式を募金方式に切り替えました。その主な理由は、集金方式では領収書の発行手続きが煩雑の上、高齢の班長が玄関先で転倒して入院した方もいたため、班長業務の軽減と高齢化を考慮したためです。その結果、集金額が激減してしまいましたが、この点について、どのようにお考えでしょうか。

会費の納金額減少については、本当に苦しい状況に陥っています。

10 年前と比べて、納入額が半分ほどになっています。さらにコロナの拡大以降、夏祭りの模擬店出店や福祉まつりを開催できず、事業収入を得ることができなかつたため、毎年、別途積立金を取り崩しながら運営している状態です。その別途積立金ももうすぐ底をつきそうなところまで減少しており、このままでは事業・活動の継続が難しい状況になってきています。

班長さんの集金業務の負担軽減については、十分、理解していますので、中志津地区においては以前のように 1 軒 1 軒、領収書を発行する形に戻すことはできないと考えています。

今後、どのようにこの問題を解決していくべきか頭を悩ませており。地元の企業や商店などに法人会員として協力をお願いすることも考えています。

参考までに、他地域では、かなりの割合の自治会が住民からの会費の集金を止めて、自治会費の中から一定額を社協会費に充てています。下志津、上志津原町会も 10 年以上前からこの形で納金していただいています。中志津自治会もできることであれば同様の形を検討していただければと思っています。

【質問 13】 若い住民にとって社協の認知度合いは低いと思います。どのようにして認知度を上げていこうとしているのでしょうか

特に若い世代に対しては、紙媒体より W E B を介してのアピールが必要と思い、ホームページを開設しているのですが、そのメンテナンスが十分にできていないのが現状です。それをやる人材を手当することが急務となっています。

【質問 14】 現在、活動に際して最も大きな課題は何でしょうか

福祉委員の高齢化です。P T A と学校からの登録メンバーを除くと平均年齢は推測で 70 歳くらいになると思います。社協の認知度を高め、若い人たちの参加を期待したいところです。

【質問 15】 活動に参加する中で、当初からの思いを少しでも叶えられたと感じたことがありましたら教えてください (いくつでも構いません)

- ・人の役に立っていることを実感できていること
- ・多くの人と知り合いになれたこと
- ・ギター、パソコン、文章を書くことなど、自分の趣味や特技が活かされ、磨かれたこと

【質問 16】 最後に、中志津の人達にお伝えしたいことがありましたら。

ますます高齢化が進んできています。ご近所同士、気にかけて合いながら、助け合って過ごしていきましょう。そして、日常生活のお手伝いは、地区社協の「愛あいサービス」をぜひご利用ください。地区社協の行事にも参加していただき、地域の人々とながりを広げてください。

以上